たたかいのこころざしから

冤罪争い、拘留長びいたが

東京拘置所　曽根　正一

この三年間、人民新聞を送っていただき、本当にありがとうございました。衷心よりお礼申しあげます。

八一年十月一日に第一回公判が開廷されて開始された控訴審も、去る十一月十八日第十四公判の最終弁論をもって全ての審理を終え、結審をし、来たる十二月二十三日午後一時半から判決公判となりました。控訴して二年一カ月になります。

私としては、考えられるだけの可能性の限りの打つべき手は全て打ってのことで、現在は「人事を尽して天命を待つ」の崖上の縁の心境です。

破棄自判され、十二月二十三日に「爆発バク」になることを「二〇〇%確信」しております。

私がバクられたのが七年六月九日ですから、実に五年六カ月ぶりのシャバとなります。捜査機関によるデッチ上げを争っていたばかりに、かえってとんなに長くなってしまいました。デッチ上げさえなかったら、一審で四年の判決を言い渡された際に、そのまま下獄して、もう昨年の八月には満期で出獄していたところでした。

結局、それよりも一年半も長く拘禁されたことになるわけで、今度シャバに出られるからといって楽して手ぶらで喜ぶことはできません。むしろ日常闘争強力に対する強い怒りに燃えております。今後は、外に出てからの在日朝鮮人・曽根一の真物による全生命をかけた新たなる闘争が開始されることになります。「冤罪を争って闘いかかれ」です。

我校ではすんなり侵略上映

群馬　A　生

映画「侵略」が、ひょうたんから駒ということばよいのか……。

一年生の二学期末テストの最終日が一時間しかテストがないから、ロングホームルームをやることになりました。ところが、テスト後で時にやることがないという。

それで何故か私に料理をどうぞと言ったら、本当に上映することになりました。私は二年生のテストの監督で観られず、生徒の反応をうかがうことはできませんでした。東京多摩支局の松永さんに連絡して、埼玉のフィルムをもっている人を紹介されて、そこから借りたということでした。松永さん、お世話さまでした。

また、私は授業の合間に生徒に読み聞かせを毎年しているのですが、今年は「つくれないそれぞれの色」「天皇は神様ですか」「在時殺人者」を生徒さんにきいてもらいました。よくきいてくれます。「本当のことが知りたいからもっと」と言ってくれる生徒もいます。それをたよりに、これからも続けてきかせていくつもり。

たかが小学校入学ぐらいで

大阪　T　生

来年、ぼくの娘が学令を迎える。入学前の健康診断をすっぽかしたところ、小学校から電話がかかってきた。用件はやわらかだが「どうしても受けてもらわねば困ろ」と言う。そこで女房が休みをとって、わざわざ別の小学校の健診日に出かけた。

健診をすますと今度また問題がかかってきた。「子供を面接に連れてこい」とのこと。たかが小学校に行くぐらいで、あまりのものものしさに少し閉口している。線もまた、よってたかって、あらかじめ敷かれたレールにのせられていくのだろうか。

弾圧資金18億公然と予算に

大阪　U　生

完全無欠の最高検察庁長官で用中角栄の腹心といわれる後藤田氏、内閣官房長官に就任した。この内閣官房長官には何と十八億円にも及ぶ機密費があてがわれる。何に使ってもよい、誰にもいわなくてもよい、領収証もだれの承認もいらない金だ。メカケを囲っても、殺し屋を雇っても絶対だれにもバレない。

実際この金が何に使われるのか。これが支配の道具として使われるのは当然だ。あらゆる人民の闘いを押しつぶすためこの金はバラまかる。

とんなふうに弾圧資金が全く公然と公的に認められていることを、我々は胆に銘じておくべきだと思う。

過去の闘いの反省の上に敵の謀略を打ち破ろう

日本赤軍

十一月十五日号掲載の、片岡利明さん（反日武装戦線・被告）で、反日武装戦線支援の、小包爆弾事件に対する意見に続いて、日本赤軍からも投稿が寄せられたので掲載する。事件後の新聞報道内容の二転、三転ぶりからみても「奇怪な事件」であることは明白であり、「謀略」くささはますます濃厚になっている。

十月二十九日、東京・銀座の小包集中局で、小包爆弾が爆発し、作業中の労働者を負傷させるという「事件」が起きた。この「事件」は、無目的で、人民性のない犯罪的な行為である。警察権力は、この「事件」を東アジア反日武装戦線とその支援者の行為とデッチあげることによって、左翼勢力に対する新たな謀略を行おうとしている。東アジア反日武装戦線の四戦士に対する捏造審判決に合せたこの犯罪的行為をもって、警察権力は、四戦士への死刑・重刑攻撃を正当化し、東アジア反日武装戦線の敗北を、ことさらに共にすりかえようとする。

敵は、常に歴史の大きなうねりの中で人民のたたかいを圧殺するために、「松川事件」「下山事件」等の謀略、「土田邸・日石・ピース缶爆弾事件」等のフレームアップを行ってきた。その目的、反人民的性格は、明らかに、敵によって仕組まれたものであることを示している。

敵の意図は、第一に東アジア反日武装戦線、「連合赤軍」に対する死刑・重刑が当然のむくいであるという世論をつくりあげることによって、政治犯への死刑・重刑の攻撃を行いやすくすることにある。

第二に、東アジア反日武装戦線の支援者、「左翼過激派」に対するフレームアップを行うことによって、その解体を目論んでいる。

第三に、八十三年の政治決戦を前にし、人民的規模の進歩的な流れの中に分断をもちこみ、闘いの発展をおしとどめようとしている。

こうした敵の策動を許してはならない。また、私たち自身が過去の闘い方の反省の上に闘いぬいていかなければ、常に敵の謀略のえじきにされていくということを教訓としていかねばならない。

この事態を深重し、私たちは、八一年八月付でかかれた、東アジア反日武装戦線三戦士の反日武装戦線総括をここに公表する。そのことによって、どのようにこれまでの闘い方を教訓として闘っていこうとしているのかを伝えていきたい。それは明確に、謀略に対する有効な反撃となるだろう。

同時に、すべての人々と闘いの教訓を通することによって、二度と謀略を許さない闘いをつくり出していく力になることを確信する。

もちろん八一年にかかれた総括は全面的に十分だとはいえない。そして、現在に至るも、獄中同志たちとは、一致しえているとはいえない。しかし、敵の謀略にさらされた状況を、断固として反撃へと転化していく一歩として、総括を提起することが、全局的、戦略的観点から意識をもつと確信する。

ここで、武装、武闘・重刑攻撃を許さない人民の広がりをもった闘いをつくり出そう。私たちは、その一環として、反撃を共に担う決意である。

私の紙面批評

反日片岡くんの意見に安心した

石川　M　生

反日武装戦線及び支援連の10・29テロへの批判が読めて安心しました。もう少し反日戦線について載せてほしかったです。

また、今年に入ってからあちこちで日米合同演習が行われるようになりましたが、その辺について断ってくれるような紙面が欲しいです。

経費難なのですか。とにかくがんばって下さいね。

フランス・エコロジスト運動団体
「地球の友」のポスター

フランスのエコロジスト組織「地球の友」のポスターの復製。「もしあなたがのぞむなら…」、七七年のパリ市議選挙で、「地球の友」が作ったポスター。どんな社会を作りたいのか絵と会話で。政策とスローガンも。その日本語訳を付している。日本みどりの党結成準備会が制作。千円（〒料別）、60×84センチ、多色刷り。申込先＝大阪市東淀川区東中島一―二〇―一二、ユニゾーン新大阪九二七、日本みどりの党結成準備会、〇六―三二五―二四二二。人民新聞社でも取扱い中。【写真上】

■食品添加物のえほんシリーズ■

ガームでおくちがはれちゃった

甘くて美味しいお菓子ガームをたべて顔ボロボロ出来ものになったそしてもう動物のはなし。読んであげるよう2～3才からわかります。

ゴクゴク　ゴクちゃんどうしたの？

ジュースの大好きなゴクちゃんは用意だらけ。炭酸強してもイライラ。泣んでいてもつまらない。コーラ中毒になってしまったゴクちゃんはどうしたらよいのでしょう？

ほんものは　どっち？

おひさまの光をあびてスクスク育った野さいやくだものと、テレビで宣伝しているたべものと、きみはどっちが好きですか？　たべものって、いったい何だろう？　幼児から小中学生、おとなまで。

■コンクリートの下じきになった虫たちのえほん■

てんごくは　まんいだ

空をみていたら雲がおりてきて、かいだんをつくってくれました。どんどんどんのぼっていくと…天国は虫や動物の天使たちであふれていました！

■合成洗剤のえほん■

あぶくのおうさま

合成洗剤の大好きなダロワくんのママ・あるひ、あぶくの国からのお迎えがきて行ってみると…！わかりやすい解説付です。

■エネルギー問題を考える―原発のえほん■

げんばつなんか　いらないぞ！

げんばつってなに？の質問から、原発は子孫を苦しめるたくさんの廃棄物をつくりだすこと、石油の代替エネルギーにはならないこと、農民や漁民が困っていること…など

☆お申し込みは、ハガキか電話でどうぞ！
☆どれも1冊400円です、送料は普通小包で、2冊まで200円、8冊まで300円、10冊以上は当方負担。

宇宙はてない社
〒189　東京都東村山市諏訪町2―1―4
TEL　0423―9―9791
郵便振替　東京　九―二一三一一